

製品名: 転写因子 AP2γ ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02899**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 49 kDa; Observed MW: 49 kDa

抗原情報

遺伝子名	TFAP2C
別名	ERF1; TFAP2G; hAP-2g; AP2-GAMMA
遺伝子 ID	7022
SwissProt ID	Q92754
免疫原	ヒト AP2 ガンマの組み換えタンパク質

背景

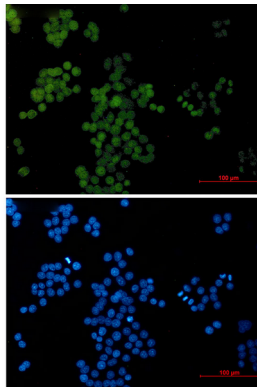
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、配列特異的な DNA 結合転写因子であり、複数の発生遺伝子の活性化に関与する。

コードされるタンパク質は、他のファミリーメンバーとホモ二量体またはヘテロ二量体として機能し、レチノイン酸を介した分化過程において誘導される。眼、顔面、体壁、四肢、神経管の発生に関与する。

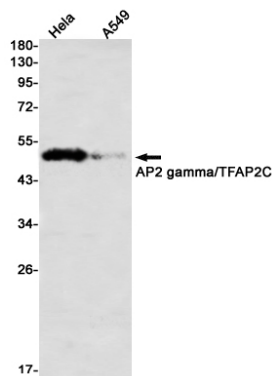
研究分野

細胞生物学

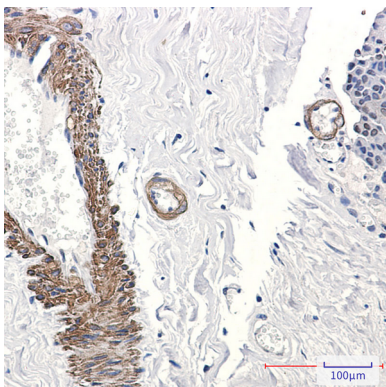
画像データ



転写因子 AP 2 ガンマ抗体および DAPI (青) を使用した、Hela の転写因子 AP 2 ガンマ (緑) の免疫細胞化学分析。



AP2 ガンマ/TFAP2C 抗体を使用した Hela A549 溶解物中の AP2 ガンマ/TFAP2C のウエスタンブロット分析。



AP2γ/TFAP2C 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。